



## お家の人の『効果のあったほめ言葉』!!

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。子どもたちは、まだまだ暑い天候にも負けず、生き生きと学校生活をスタートさせました。

さて、夏休みに向けての地区懇談会の時に、3年続けて保護者の皆さんに、「子どもたちをほめて育てよう」「子どもとのコミュニケーションを大切にしよう」「お父さんも子育ての出番です」という3点を中心に、夏休みの協力をお願いしたところですが、どうだったでしょう!?

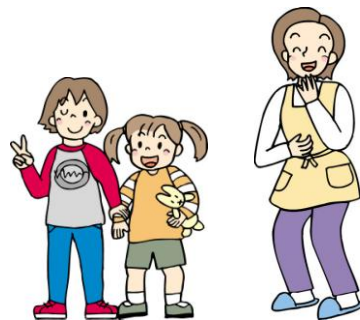
具体的な取組としては、読書の音読を聞いてもらう、積極的に子どもの良さやがんばりをほめてもらうことも生活点検項目に加え、子どもたちに記録してもらうことにしました。また、生活点検表の最後に、保護者の皆さんに「子どもたちのやる気の出たほめ言葉」を今年もお世話になり、記入してもらいました。

そこで、今年も昨年度までにならって、学校だよりの臨時号として、その内容をまとめ、皆さんに見てもらおうと思います。2学期からの日々の生活の中でも、子どもたちをさらに積極的に「ほめて育てる」材料にしてもらえれば幸いです。また、家庭でのやる気の出るほめ言葉も参考にしながら、学校としても、さらに積極的に子どもたちの良さやがんばりを認めていく取組を進め、子どもたちの自己肯定感を高めていきたいと考えています。



### 素直に「ありがとう」と伝え、やる気を引き出すパターン

- ・「ありがとう」
- ・「本当にありがとう」
- ・「〇〇してくれて、ありがとう」
- ・「〇〇(名前)、ありがとう」
- ・(少しのことでも)「いっぱい手伝ってくれて、ありがとう」
- ・(感情をこめて)「ありがとう」
- ・(スキンシップ [ぎゅっと抱きしめて])「ありがとう」
- ・「たよりになるお姉ちゃんになったね、ありがとう」
- ・(ちょっとしたことでも感謝の気持ちを込めて)「ありがとう」



### 子どもを認める、大事にしていることを伝えることで、やる気を引き出すパターン

- ・「さすがお姉ちゃん(お兄ちゃん)だねー」
- ・「さすが、そんなこともできるんだ」
- ・「お母さんより〇〇上手だねー」
- ・「〇〇をがんばったね」
- ・「すごいなー」
- ・「もうちょっとだよ、がんばれ」

- ・「上手にできていて、すごい」
- ・「がんばって〇〇をしてくれたねー」
- ・「いい子だねー」
- ・「ごくろうさん」
- ・「やればできるじゃない」
- ・「〇〇(名前)のおかげで、〇〇ができたよ」
- ・「お母さんより〇〇(名前)のほうが上手」
- ・「成長したねー」
- ・「遠泳がんばったね、感動したよ」
- ・「すごい、してくれたのー、うれしい」
- ・「今までできなかったことが、できるようになったね」
- ・「途中であきらめずに、がんばって挑戦したね」

### たよりにされていることを感じることで、やる気を引き出すパターン

- ・「〇〇してくれて、助かったわ」
- ・「〇〇(名前)が、いちばんたよりになるわ」
- ・「本当に助かるわ」
- ・「助かったよ、またたのむわ」
- ・「手伝ってくれて、お母さん楽だわ」
- ・「進んでしてくれて、助かった」

### 親もともに関わることで、やる気を引き出すパターン

- ・「いっしょに、がんばろう」

## 夏休みの生活点検表のお家の方のコメント欄から

今年、夏休みの生活点検表に書いていただいたお家の方からのコメントを読ませていただくと、昨年度までと違う特徴が見られました。

それは、『お手伝いをがんばってくれました』という内容のものが大変多かったことです。これは、毎年、夏休みの生活点検表の項目にもあげ、家庭でも協力をお願いしている「夏休み中もほめて育てましょう」ということと、密接な関係があると感じました。



家庭でしっかりと意識をして、子どものできたことをタイムリーにほめておられる家庭のコメントに、『手伝いをがんばった』という内容を書いておられる方が大変多かったということです。これは想像するに、上手にタイミングよくお家の人が子どもたちのがんばりをほめる⇒子どもたちがお手伝いをしようとする意欲が高まる⇒またお手伝いをする⇒またほめられる、というよい循環ができたということだと思います。

また、夏休みの家庭での学習・早起きについても、昨年までと比べて「がんばりました」というコメントが多くありました。家庭での『子どもたちの意欲を高める言葉かけ』が進んできた証拠でしょうね。

課題としては、例年のとおり、早寝とテレビ等の時間が多く書かれていました。本人だけではなく、家庭での課題として少しずつ改善ができるようご協力を今後もお願いします。